



慶長以後城主年表

下

服部文庫
417
2177
2



117 43
2177
2

慶長以後

城主年表

下

服部文庫

117

1196

2

丹羽長秀
天正十一年
同加賀守長重

京極高次
日若狹守也高
寬永十一年出雲
隱岐

小濱
武田氏

天長十一年	丹羽長秀領	天正十一年	丹羽加賀守長重	同十一年	丹羽加賀守長重	天正十一年	淺野赤松長政	文祿四年	木下若狹守勝俊	慶長五年	京極若狹守高次	寬永十一年	酒井讚岐守勝勝
十一月	丹羽長秀領	十一月	丹羽加賀守長重	十一月	丹羽加賀守長重	十一月	淺野赤松長政	十一月	木下若狹守勝俊	十一月	京極若狹守高次	十一月	酒井讚岐守勝勝
十一月	丹羽長秀領	十一月	丹羽加賀守長重	十一月	丹羽加賀守長重	十一月	淺野赤松長政	十一月	木下若狹守勝俊	十一月	京極若狹守高次	十一月	酒井讚岐守勝勝

受白括地志云百濟國西
南渤海中有大島在
皆邑港有人居居百濟
又倭國武皇后改曰日本
國在百濟南滿海依
名山而居凡百餘國

經邦典例卷六

丹青雲

所聞或引括地志云則天武后改倭國曰日本國蓋因史記注所
引正義之文而訛也括地志唐貞觀中魏王奏命蕭德言顧
胤等撰上當時宜有稱謂武皇后若邪正義者聞之諸王侍後
張守節一稱而其所引括地志云係百濟國事耳史注所引又
倭國武皇后改曰日本國即是正義之文而猶言武后改名倭國
蓋存其中國之體也又據唐書所載咸亨元年倭更號曰
本此時高宗既委政武后然則其名字下或脫時字又未可知
也近世學士無史學子歎如此吾曹可以為鑑戒

夏初九月天黃

四萬名

大野
天正三年九月以前
三郎助野田利家
天正三年九月以前
三郎助野田利家
天正三年九月以前
三郎助野田利家

福井	古北庄	九岡	大野	府中	勝山
斯波臣	朝倉野守直景	波多野氏代	斯波尾張守高経		
朝倉七	一揆蜂起				
天正元年					

外史 天正三年九月以前
三郎助野田利家
天正三年九月以前
三郎助野田利家

同十一年	丹羽越前守長重	丹羽持
同十二年	丹羽加賀守長重	
同十三年	丹羽越前守長重	
同十四年	丹羽越前守長重	
同十五年	丹羽越前守長重	
同十六年	丹羽越前守長重	
同十七年	丹羽越前守長重	
同十八年	丹羽越前守長重	
同十九年	丹羽越前守長重	
同二十年	丹羽越前守長重	

府中
木村隼人家経
同十三年
堀左衛門督秀政
同十八年
堀秀政
同十九年
堀秀政
同二十年
堀秀政

同十三年	堀左衛門督秀政	青山伊賀守忠元	青木紀伊守秀政	木村隼人佐建経
同十四年	堀左衛門督秀政	青山伊賀守忠元	青木紀伊守秀政	木村隼人佐建経
同十五年	堀左衛門督秀政	青山伊賀守忠元	青木紀伊守秀政	木村隼人佐建経
同十六年	堀左衛門督秀政	青山伊賀守忠元	青木紀伊守秀政	木村隼人佐建経
同十七年	堀左衛門督秀政	青山伊賀守忠元	青木紀伊守秀政	木村隼人佐建経
同十八年	堀左衛門督秀政	青山伊賀守忠元	青木紀伊守秀政	木村隼人佐建経
同十九年	堀左衛門督秀政	青山伊賀守忠元	青木紀伊守秀政	木村隼人佐建経
同二十年	堀左衛門督秀政	青山伊賀守忠元	青木紀伊守秀政	木村隼人佐建経
同二十一年	堀左衛門督秀政	青山伊賀守忠元	青木紀伊守秀政	木村隼人佐建経
同二十二年	堀左衛門督秀政	青山伊賀守忠元	青木紀伊守秀政	木村隼人佐建経

官
天正三年九月以前
三郎助野田利家
天正三年九月以前
三郎助野田利家

天野 松平 直富
天和二年三月
生足利三郎内四万石

土升 利房
天和二年六月
生足利三郎内四万石

有馬 清純
天和二年五月
石

同十二年

正保元年

天和二年

元禄四年

同八年

室永七年

松平大和守直基
正保元年三月
生足利三郎内四万石

松平但馬守直良
天和二年三月
生足利三郎内四万石

土井能登守利房
天和二年六月
生足利三郎内四万石

有馬左門佐清純
天和二年五月
石

松平左守直良
天和二年三月
生足利三郎内四万石

松平大和守直基
正保元年三月
生足利三郎内四万石

小笠原左守直信
天和二年七月
生足利三郎内四万石

築城
天和二年六月

加賀

金澤

小松

大聖寺

永正中官田忠頼介二任七野三郎唐頼朝其九代奉家守護上足利尊氏又其四代高家守護
トレ子孫三傳ノ長祿三年赤松氏以別軍國ノ防人拒テ和以二一代政教三至一何門法ノ乱為威
ニシテ其後門徒事志ハナク十一年天文中上杉謙虎代テ其首領ノ降ニ朝命我軍亦其西境ヲ躬
天正八年備田氏之ヲ討テ全圖ヲ割テ加賀ニシテ十一年豊臣氏之ヲ討テ之ヲ易シテノ

天正十年 前田又左衛門利家

丹羽長秀領
村上周防守義昭

丹羽長秀領
溝呂谷守秀勝

元祿御山或小山
尾山

天正八年村上周
防義明十一年

天正八年村上周
防義明十一年

天正八年
佐久間玄蕃元盛政

丹羽長秀領
川義明之屬

伯耆守秀勝
丹羽長秀之屬

天正四年
戰死二十六日前田

利家(推定)三州也

去天正十年五月朔日
三州也

官家
天正十四年太閤加賀
同石川河内兩郡加賀尾
山三任
慶長四十三三年
肥前守利長
慶長四十四年加賀守
加賀三郡守
同六年 米利延野地
會登國陽加賀野地
野地及近江高志郡内
三十二百五拾七石九
石二七石石合
同五年十月七日加賀國能
美江沼兩郡於三石方
石合ノ地
慶十一年三月三任
加賀前守利常
慶十一年六月大任
同十九年七月父渡稻
料之併欲

天正三年 濱田守門太閤	同八年 佐々木南宗 濱田村古高野守長 兼御 家嘉	同十一年 前田又左衛門利家 四月 慶長 文祿三年 三月尾山政全 上一年四月廿六日	同四年 長 同三年 長	同十一年 前田中納言利長 百六十五石 十七坪 安堵加三石	寬永十一年 前田肥前守利常 三千石 六廿隱居領 前田飛騨守利治 三千石 六廿元元高合知 江沼美西郡内	別喜右近	大聖寺	小松	金澤 元御山
		清中伯耆守春勝 四月廿日 近江高野 慶三年 新發田 長五國各使 没收	丹羽加賀守長重 三月廿日 松任 長五國各使 没收	利長持 十月廿七日 利長持	山口吉蕃元正弘 六月廿日 松任 十月廿七日 利長領				
		月日 齋藤新發田村 月日 齋藤新發田村 月日 齋藤新發田村							

萬治元年

三月廿八 松平加賀守綱紀
持

神保 越日記 天正三年
佐 歷清三年日記

越中

建武中 柳井直常守護 平正五年 足利尊氏高汪守護 子義將 延天授 公羊 富山 其目
二賜 曾孫 政長 朝臣 二年 戰 北 京 所 推 名 神 保 守 護 判 越 後 上 杉 野 庭 受 野 庭 死 子
清 氏 利 家 元 允 中 上 杉 輝 虎 推 名 成 神 保 守 護 國 大 半 以 甲 為 天 宗 年 輝 虎 卒 子 清 康 推
四 公 田 隆 二 成 政 守 富 山 二 正 年 全 國 領 七 云

富山

天文 正 年 神 保 越 中 守 佐 虎 推 名 守 護
元 龜 三 年 上 杉 輝 虎 領 後 守
天 正 七 年 佐 三 陸 守 成 政 守 富 山 二 正 年 全 國 領 七 云
三 州 佐 守 成 政 守 富 山 二 正 年 全 國 領 七 云

天文十年

神保越中守

越前記

天正七年

佐々陸奥守成政

十五年 肥後へテ

同十三年

前田肥前守利長

四州 同國守守

慶長十年

前田肥前守利長

十五年 五月廿四日 肥後

同十九年

松平肥前守利常

五月二十日 持

寛永十六年

松平淡路守利次

十六年 六月 六十元 萬石知

三十二万石 或五十二万石

三十二年 八月七日 攝政 大納言 三郎 行 じ 松
十四年 四月 朔 新川 邸 へ 加 賜 守 山 富 山 守 松

能登

七尾

天正九年 前田玄春兩利家

慶長四年 前田能登守利政

同五年 前田肥前守利長

慶長六年 前田利長討地能登國了賜

十二月 前田玄春

十二月 前田能登

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

十二月 前田利長

越後

高田

新發田

村上

十二年 前田利長

十五年 前田利長

十六年 前田利長

十七年 前田利長

十八年 前田利長

十九年 前田利長

二十年 前田利長

二十一年 前田利長

二十二年 前田利長

二十三年 前田利長

二十四年 前田利長

二十五年 前田利長

二十六年 前田利長

二十七年 前田利長

二十八年 前田利長

二十九年 前田利長

三十年 前田利長

三十一年 前田利長

三十二年 前田利長

天正十二年

十五年

十六年

新發田因幡守治長

小倉伊治守

佐藤石見守

下段...

下段...

下段...

下段...

下段...

下段...

下段...

下段...

下段...

下段...

下段...

建武年 新田義興

房方 春日山

國之 權有

二年 子景勝

十二年 同郡福島

十九年 正月高田

守護上杉 景元

山住 永正三年

六郎 為景 天正

子 景虎 繼後

政嗣 子 上杉

天正六年 輝

輝 景勝 繼

輝 景勝 繼

輝 景勝 繼

輝 景勝 繼

輝 景勝 繼

輝 景勝 繼

上杉 景元

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

上杉 景元

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

上杉 景元

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

上杉 景元

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

上杉 景元

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

上杉 景元

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

上杉 景元

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

上杉 景元

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

上杉 景元

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

上杉 景元

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

上杉 景元

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

上杉 景元

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

代治 長

新發田 伯耆

村上
本多吉十郎
室永六郎四名跡五
万石監物忠良賜
同七年三河川屋
高田
松平 定重
因幡守定遠
日越守定輝
日越守定儀
日越守定賢
寛保元年
同部詮房
同下総守詮言
寛保元年
寛保元年

室永元年

同七年

享保元年

同五年

寛保元年

十五方 夫五 妻名り
松平越守定重

十五方 土州 姫路り
松平越守定重

十五方 土州 大坂邊
内藤越前守詮房

十五方 土州 高崎り
同部越前守詮房

十五方 土州 姫路り
榊原小平太政永

十五方 夫八 妻路り
本多吉十郎忠孝

十五方 土州 高崎り
松平右京大夫輝貞

十五方 土州 大坂邊
内藤越前守詮房

十五方 土州 高崎り
同部越前守詮房

十五方 土州 姫路り
榊原小平太政永

丹波

守護細川頼元五州改元ニ至リ三義子アリ守護實業ヲ傳フ永二四年改元親徳七澄之代三澄
元弘ヲ討テ澄之ヲ殺ス五年高田澄元ヲ走ラシメアノハシ大永中波多野頼直自立シテ同平
祐ノ秀治ニ至リ天正七年織田氏明智光秀ヨリ討テ澄元ヲ殺シ山ノ峯ニ光秀ヲ誅ス
氏民義子秀徳ヲ福智山ニ討テ

福智山

竹條山和八上

龜山

波多野氏領後
豊臣氏領天正七年
杉原七郎存内家次

波多野 植田天
永中近郡ヲ畧シ自
三河州ニトナリ右所門
大夫秀治ニ至リ天正
七年明智光秀ニ滅ハ
ル

波多野カ持城天
正七年織田氏丹
波ヲ明智日向守
光秀ニ賜ヒシ事
山ニ住リ天正六年
明智光秀ニ滅ス

荒木山城守義村
後播磨大縣頼氏
子信房天正七年
明智光秀四至天正
四年

波多野氏四代右州門
大夫秀治天正七年織田
氏ニ討テ死ス

波多野氏四代右州門
大夫秀治天正七年織田
氏ニ討テ死ス

馬守ヲ居ケル丹波老和
井口ハ波多野氏野木
縫殿助吉澄居天正中
織田氏降ルニ至リ
明智秀勝(天明元年)

波多野氏四代右州門
大夫秀治天正七年織田
氏ニ討テ死ス

波多野氏四代右州門
大夫秀治天正七年織田
氏ニ討テ死ス

明智光秀(天明元年)

波多野氏四代右州門
大夫秀治天正七年織田
氏ニ討テ死ス

波多野氏四代右州門
大夫秀治天正七年織田
氏ニ討テ死ス

明智光秀(天明元年)

波多野氏四代右州門
大夫秀治天正七年織田
氏ニ討テ死ス

波多野氏四代右州門
大夫秀治天正七年織田
氏ニ討テ死ス

明智光秀(天明元年)

波多野氏四代右州門
大夫秀治天正七年織田
氏ニ討テ死ス

波多野氏四代右州門
大夫秀治天正七年織田
氏ニ討テ死ス

明智光秀(天明元年)

波多野氏四代右州門
大夫秀治天正七年織田
氏ニ討テ死ス

波多野氏四代右州門
大夫秀治天正七年織田
氏ニ討テ死ス

明智光秀(天明元年)

波多野氏四代右州門
大夫秀治天正七年織田
氏ニ討テ死ス

波多野氏四代右州門
大夫秀治天正七年織田
氏ニ討テ死ス

明智光秀(天明元年)

波多野氏四代右州門
大夫秀治天正七年織田
氏ニ討テ死ス

波多野氏四代右州門
大夫秀治天正七年織田
氏ニ討テ死ス

官譜... 細川藤光... 日越中... 慶長... 寛文...

元和八年... 京極高知... 寛文八年... 京極高知... 慶長八年... 京極高知...

竹
野
宮津

寛文八年	寛永八年	元和八年	慶長八年	同十年
牧野佐渡守親成 再築城	廢城	京極修理茶高主 加佐郎内	京極高知持	細川左衛門藤光
三万五千石 京極領		三万五千石 八父高知領地	三万三千石 信飯留	三万三千石 信飯留

永井高征
日信濃守高長
延宝八年... 永井高征

青山幸秀
日大和守幸道
延宝八年... 青山幸秀

同九年	天和元年	元禄十年	貞保元年	宝曆八年
永井右近大夫高征	阿部對馬守正邦	領軍熊本郎昌成	青木膳長幸秀	松平富之助實昌
六万三千石 京極領	九万九千石 其岩付ヨリ	五万石 宇都宮ヨリ	三万五千石 高知領	三万五千石 高知領

但馬

正平十九年山名時義守護上り此隔山三層六代祐豊子氏政天正三年出石三從八年豊臣氏
来討八月城ヲ奪テ奔ル豊臣氏其ノ弟秀長ヲ封ス

出石

正平十九年山名時義守護上り此隔山三層六代祐豊子氏政天正三年出石三從八年豊臣氏
来討八月城ヲ奪テ奔ル豊臣氏其ノ弟秀長ヲ封ス
天正三年山名時義守護上り此隔山三層六代祐豊子氏政天正三年出石三從八年豊臣氏
来討八月城ヲ奪テ奔ル豊臣氏其ノ弟秀長ヲ封ス
五月豊臣氏之ヲ取リ秀長ヲ居ル但馬ヲ封ス

天正十年

羽柴美濃守亦長

其前野但馬守長恭

但馬及播磨守賜フ
年月不詳本國記十年
城主定三見上故十年係
月 天和 移封 兩山 移

因幡

鳥取

此國元年山名時氏守護トリ三子氏為三傳一本支絶承ニテ豊定ニ至ル永祿中其子豊茂救臣
武田高信力元ノ弟豊國絶天正二年高信誅ニ鳥取ヲ復シテ居ル八身豊臣氏未圍ハ時ニ居臣
致ラ異ニシ豊國・出テ降心豊臣氏ヲ奉制ヲ毛利ニ受テ拒守ス九年城陥リ豊臣氏官部善祥居ヲ奪

(投票)

天正十一年

宮部善祥坊總潤

是年ニ至テ古備ノ南ノ邊ニ居ル
二十万石(投票)豊定源十郎豊茂

兵部輔定行
長祿四年改任
成美六月有議而流

成美六月有議而流

癸島 辰

山名 中務 藤原

元永元年 武内 豐前

天光元年 山名 豐國

同 年 宮部 喜禰房

慶長元年 池田 備中守長吉

元和三年 松平 新太郎光政

寬永九年 松平 勝五郎光仲

本間元 宮部 喜禰房
天正二年 三田 隆正

慶長元年 宮部 喜禰房
慶長元年 九月 南 信直

慶長元年 池田 備中守長吉
元和三年 備中 松山

六分 後六分 寺
酒造 井邊 由

三三 方 二 堀 路 引
岡 伯 一 岡 山 一 慶 長 九 六 六

三三 方 穴 岡 山 引
松 平 勝 五 郎 光 仲
四 堀 引 堀 引

伯耆

米子

守護 山名 時氏 七世 傳
大永 四年 尼子 經久 領 米子 領 元 就 領
天正 十年 豐臣 氏 領 米子

天正十九年 吉川 藏人 頭 廣 家 領
三月 汗 入 會 見 日 野 三 郎 出 雲 美 美 島 根 意 守 三 郎
安 藝 山 縣 郡 合 土 万 石 及 隱 岐 國 賜 土 田 當 田 注 會 禮

堀尾吉晴
日山城守忠晴
寛永十年無嗣絶

尾子持尾子

天正十年毛羽

吉川藏人廣家
伯雲生國

慶長十年

堀尾吉晴
三万石
千石
千石

間七月六日小瀬舟移
出雲國境兩國三万石
四千二百石餘領
松城三位云

寛永十年

京極若狹守忠高
聖蔭田
六万六千二百石松本より

同十年

松平出羽守直政

石見

建中藤原国并守護より子孫分て三田三隅福元三族上ル一甲三利也詮大内海
守護ハス子孫分て三族及吉見割據久大永永東周防大内氏出雲尾子氏世國ヲ争
ト至三消長アリ毛利氏大内氏代テ過リ小瀬ノ初結ミ之ヲ争ス

津和野
三本松
濱田

建中藤原国並守護
上子孫益田三隅福
元和五年古田重
治三族一八重輝

吉見子孫割據久
大永永東周防大内氏
出雲尾子氏世國ヲ争
ト至三消長アリ毛利氏
津和野三本松
三本松若見大永永東
正頼據止アリ

天正十年

毛利輝元領
毛利輝元領

三本松
明德二年吉見五郎
政親築城九代大藏
大輔政頼三子
石見八重輝
原重輝

坂崎出羽守
八重葎二年八月
落崎出羽守行
成心書長官信濃守

古田 重治
元治 重治
長部重恒
慶安元年六月

松平康映
元治 松平康映
慶安元年六月
室曆九年古河

本多 忠敬
元治 本多忠敬
明和六年
松平康福
元治 松平康福
天保七年

津和野 扇田

吉原藏輔賴

毛利

慶長五年 坂崎出羽守義正

元和三年 龜井豊前守政矩

同五年

慶安元年

室曆九年

三分或四方
元和三年
四万三千
因鹿野

元治元年
勢松坂

古田勝末重治
慶安元年六月

松平周防守康映
元治元年六月

本多中務大輔忠敬
元治元年六月

扇田

吉原藏輔賴

毛利

慶長五年

元和三年

同五年

慶安元年

室曆九年

明和六年

天保七年

松平周防守康福
元治元年六月

松平右近将監春厚
元治元年六月

天明五年廿八加一石
三河橋三押堂
六万四百五合

天明五年廿八加一石
三河橋三押堂
六万四百五合

姫路
松平明直
全喜八郎朝矩
全式大浦政祐
全式大浦政祐
全小平太政永
全保元高四
全保元高四

元祿五年																			
宝永元年	十五万																		
全三年																			
宽保元年																			
宽延二年																			

元祿五年 十五万 松平明直
宝永元年 十五万 全喜八郎朝矩
全三年
宽保元年 十五万 全式大浦政祐
宽延二年 十五万 全小平太政永

森和泉守長直
永井伊豆守直致
野島守三
三万三千 野島守三
宝永三年 信飯山

姫路
松平直基
全藤松直矩
慶安元年
松平建次
全刑部大浦政房
全能之助政倫
明石
松平忠国
全日向守信之
赤穂
浅野長直
全米全長友
全門匠長矩
全保元高四

正保三年																			
慶安元年	十五万																		
全三年																			
宽文七年																			
全十年																			
延宝七年																			
天和二年	十五万																		

正保三年 十五万 松平直基
慶安元年 十五万 全藤松直矩
全三年 十五万 松平建次
宽文七年 十五万 全刑部大浦政房
全十年 十五万 全能之助政倫
延宝七年 十五万 明石松平忠国
天和二年 十五万 浅野長直

本多忠房
全吉十郎忠孝
宝永元年 上
赤穂 赤穂藩
浅野 浅野藩
全米全長友
全門匠長矩
全保元高四
松平忠国
日向守信之
日向守信之
赤穂 赤穂藩
浅野 浅野藩
全米全長友
全門匠長矩
全保元高四

助坂務補安政
五万三千 信飯山
浅野内匠頭長直
五万三千 信飯山
築城 赤穂藩 浅野藩
明石美濃藩兩郡内

美作

正平中山名伊豆守時氏子氏清之中八年誅死赤松元三大夫義則子滿祐誅死山名照高之三代
文明初赤松元三大夫義則之取子義村其臣浦上村宗三裁也其夫正平初字多直家全
關ヲ侍有ス

津山

正平中守護山名伊豆守時氏
元中八年赤松元三大夫義則
後山名照高文明初赤松元三
大夫政則天正初源田和泉守
直家(提督)
慶長中赤松元三大夫義則(美作志)

勝山

明和三年三浦順
慶長中三浦下野守
宗十三代才五郎貞
廣永初赤松元三大夫
氏三大夫輝元稱時
正元第一子
初字多直家
甲備中三浦由良
守多直家(作旧伝)
天正三年
守多直家(作旧伝)

宇喜多直家
中納言
慶長五配流

松平 忠継
内宮内少輔
寛永九因伯

岡山

浦上伊豫守宗景

天正十三年

宇喜多和泉守直家

慶長五年

羽柴左衛門督秀秋

同八年

松平左衛門督忠継

寛永九年

松平新左衛門督光政

備中

元弘中守渡高橋英光足利尊氏高師秀守渡中
山名時氏秋庭重明守備中
天授中義満細川頼之ヲ守渡高師秀守渡中
山名時氏秋庭重明守備中
元弘中守渡高橋英光足利尊氏高師秀守渡中
山名時氏秋庭重明守備中
天授中義満細川頼之ヲ守渡高師秀守渡中
山名時氏秋庭重明守備中

松山

今高梁

成羽

河内守成羽宗宣
宗宣
宗宣

天正十三年

毛利輝元領

毛利輝元領

備中守渡高橋英光
高師秀守渡中
重明子備前守頼之
守渡高橋英光
備中守渡高橋英光
備中守渡高橋英光

天正十三年

毛利輝元領

毛利輝元領

安藤重博
日右京進信友
正徳元美加納

元禄八年
安藤對馬守重博

正徳元年
石川宗十郎總慶

延享元年
板倉周防守勝澄

備後
建武守護淺山倅就正平四年足利尊氏庶子直冬ヲ鞠ニ居キ中国探題トス十七年山名時氏子氏清謀死化油川滿之備中守兼治シ子基之嘉吉中山名持豊次子是豊一子孫繼承シ氏政ニ至則天文七年大内義隆ニ職サレ大内氏亡ルニ及テ全国毛利氏有トル

福山
元和中水野勝成築城會澤
正平中守護山名伊豆守時氏後細川
滿之又山名氏トナリ多ク神邊ニ住マシ
名氏政大内義隆ノ為ニ亡天文十一年
毛利元就ノ領トス

三次

廣島

文祿二年
天正九年
毛利輝元

百十五石
吉高郡
月 日吉田郡山ヨリ
移住

慶長五年
福島左門太王則

四十八石
精洲ヨリ
慶元前封土月正則清
洲ヨリ移住四十九石二百二
十石

元和五年
淺野伯母守長殿

平守卒音知歌山
聖武四年備後三郡
三上河津世襲三次六郡
甲忠那内二百七十五町

天正十二年
毛利輝元領

周防

山口

徳山

大内盛房周防権介上。子孫世襲。代公世周防長門石見守應。十四代又隆七國ヲ領ス。至元
天正二年其臣陶隆房之ヲ弑シ大女又鎮ノ子又長ヲ迎テ弘治元年毛利元就隆房ヲ誅シ
義長自殺ス。世襲地ヲ毛利氏ニ返テ

天正十二年
毛利輝元領

壽永中大内滿盛権介三任シ世々山口ニ傳ヘ六世孫権介弘幸守護トテ(家譜ニ弘幸子弘世
防長守護トシ弘世長弘ニ至テ周防長門石見豊前和氣紀伊六國守護トテ弘世孫
死子修理大夫持世本國及長門豊前守護(官譜ニ弘幸前ノ加テ四國トテ)子孫傳承曾
孫左京大夫義興石見守護弘幸前ノ加テ其子太宰大貳義隆ニ至テ備後ヲ加テ七國ヲ領ス又天文
二十二年陶尾隆守隆房之ヲ弑シ義長ヲ迎テ弘治元年毛利元就隆房ヲ誅シ全國ヲ領ス(世襲)

壽永中大内滿盛父祖ニ承テ山口ニ住

Grid structure for the left page, containing vertical lines and a few horizontal lines, mostly empty space.

Grid structure for the right page, containing vertical lines and a few horizontal lines, mostly empty space.

毛利就隆
元正八年
日向守元賢
元正八年
日向守元賢
元正八年
日向守元賢

山口
德山

大内共御義隆

慶長九年
毛利輝元領

寬永十年
毛利輝元領

享保元年
毛利輝元領

十月伏見見任
移住

二月長門新築

此二家德山
毛利百次郎元亮

元次子

長門

建武元年厚東本即入道宗世傳長門守又武正平三年大内介弘世一傳之左京大夫又長弘
治二年亡毛利元就其地併有男備中守隆元之國是也永祿六年卒之男輝元

北秋
府中

建武中厚東武矣
守護三代之傳之正平
十三年大内権介益隆
七代義隆陶隆房二
殺世之弘治元年毛
利元就併有之

天正十二年
毛利輝元領

須本

田邦康廣

安宅

天正十年

仙石權兵衛秀久

南十

三月十日 葬

慶長十年

脇坂中務少輔安治

慶長

同十五年

松平富内少輔忠雄

松平河波守至鎮持

元和元年

箱田修理亮宗祐

二年 月三

阿波

建武中河川和氏因守より奉頼者代り守履より勝瑞之居子孫相承持隆之至正三年
氏威権日三治平十一年又二十一年之康持隆より勝瑞之居子孫相承持隆之至正三年
五年十河存保十年長曾我部宮内
少輔元親領上九年豊后氏降
須正勝火子討之徳島之居

徳島

守護細川讚岐守頼春勝瑞之居天
文二十三年三好之康子長治之傳天正

永祿中河川和氏因守より奉頼者代り守履より勝瑞之居子孫相承持隆之至正三年
曾我部元親之元孫吉田康俊より居り
十三年豊后氏降

康俊本より降

天正十年

吉田

康俊

長曾我部元親
(勝瑞之)

蜂須賀正勝
 日阿波守家政
 元和九年为大坂功
 賜淡路
 合二千五百七十石

德島

細川左衛門大晴元

三好修理長房

天正十三年 蜂須賀正勝

月日掃屋飛野
 松十七万三千石德島二
 居或三十八万六千石備前

慶長七年 唯須賀正勝

讚岐

建武守後舟木賴重細川定禪之ヲ多テ高松城ニ據テ元三年細川賴春三子詮春國
 城ニ居五傳シテ成ニ至リ河波守重ヲ弟又四傳シテ持隆勢漸衰十河一存十河城
 三任テ國政ヲ管シ子存保三傳フ天正十一年長曾我部元叔之ヲ逐テ國ヲ併メ十三
 長曾我部元親全圖ヲ領メ十二年豊臣氏
 仙居秀久ヲ封シ守津三居由那十河存
 保三傳フ(現世)

高松

丸龜

足利氏時細川定禪高松三居延元三年細川
 讚岐守賴春守護ト九正平六年讚岐守證春
 岡城三居天又十三年三好之康永祿十河一
 存十河城ニ香川信景天正勝成三居天正十
 長曾我部元親全圖ヲ領メ十二年豊臣氏
 仙居秀久ヲ封シ守津三居由那十河存
 保三傳フ(現世)

慶長七年生駒

相傳取証
 讚岐守正勝
 此年正勝之親正平(現世)

天正十六年生駒推舉次子規新
 古高松喜岡城 高松三郎賴重子
 賴行在廿九馬助三三九天正十二年堂
 苗氏末子(現世)

文祿元年

大洲
松山
今治
西條

同十三年

福島正則持

福島左衛門夫正則

文祿四年

藤堂佐濃守高虎

大洲 松山 今治 西條

慶長五年

藤堂高虎持

藤堂高虎領

加藤左馬介嘉明

藤堂左衛門守高虎

同十三年

富田信濃守信高

加藤左馬介嘉明

高虎移安濃津

同十四年

脇坂安治

脇坂中務次輔安治

同十九年

伊達遠江守秀宗

伊達遠江守秀宗

收杯守和島

文祿四年藤堂高虎領大洲松山今治西條
慶長五年藤堂高虎領大洲松山今治西條
同十三年富田信濃守信高領大洲松山今治西條
同十四年脇坂安治領大洲松山今治西條
同十九年伊達遠江守秀宗領大洲松山今治西條

藤堂高虎
大洲松山今治西條
慶長五年藤堂高虎領大洲松山今治西條
同十三年富田信濃守信高領大洲松山今治西條
同十四年脇坂安治領大洲松山今治西條
同十九年伊達遠江守秀宗領大洲松山今治西條

脇坂安治
大洲松山今治西條
同十四年脇坂安治領大洲松山今治西條
同十九年伊達遠江守秀宗領大洲松山今治西條

元和三年

加藤左近次美貞泰

寬永四年

松平忠務次輔忠知

同十三年

松平隱岐守定行

松平美作守定房

同十三年

一柳直盛

寬文十年

一柳直盛

西條 一柳直盛
寬文十年一柳直盛
同十三年一柳直盛
同十三年一柳直盛
寬永四年一柳直盛
元和三年一柳直盛

松平忠務次輔忠知
松平隱岐守定行
松平美作守定房

一柳直盛
一柳直盛

元和三年加藤左近次美貞泰
寬永四年松平忠務次輔忠知
同十三年松平隱岐守定行
同十三年松平美作守定房
寬文十年一柳直盛

松平忠務次輔忠知
松平隱岐守定行
松平美作守定房

一柳直盛
一柳直盛

土佐

高知 高知山 元浦戸

天授中守後河津遠江守頼益田村城三居四世傳了應仁中長曾我部本山安藝山田吉良大平津野
 七族割據文明十一年一條左大臣教房子房家之奉シテ國主トシテ村三居ル天文二十一年長曾我部
 國親朝敵ヲ討シ永祿三年子宮内少輔元親迄天正元年全圖ヲ奪ビ八年一條氏亡ニ至リ
 子阿波伊豫讃岐ノ併テ四國ノ主ト自稱十三年豊臣氏來討シ三國ヲ割リ本國ヲ皆堵也
 以本標中浦戸移姓也 (提舉)
 慶長六年山内一豊新築河中小新 後高知山 (南誌)
 浦戸城 本山武部之輔茂辰 本山上義ヲ居シ天正時長曾我部元親修築 (南誌志土州洲
 岳志)

天正十一年

長曾部高南親

安堵文原中浦三務

十三年

慶長四年

長曾部高南親

五月 日元親幸盛親

慶長三年

中内對馬守一豊

九月 盛親逃亡 國府十

六月 豊親來行

筑前

福岡

古太宰府 九州の総轄 建武中 少貳貞経 守護多正

平十六年 為池武光 文中元年 探題合身 貞世 應永初 諸川

大内義興 天文未大内氏亡 諸族割據 大友義鎮 全

慶長六年 長曾部高南親 (此方 筑前之記)

天正十一年 大友義統 統領

氏連ア他少 天文未大内氏亡 毛利氏 大友氏 本國ヲ守リ 筑前亦各所ニ 據ル者 大友氏 遂ニ之ヲ併セ 立 花宗 茂ヲ立 花城ニ居シ 天正十一年 中内氏 西徂シ 全國ヲ少 早川 隆景 全 國ヲ賜ヒ 名馬 三居 提督

名馬 天正十一年 早川隆景 提督 (口上)

小早川隆景
日中納言秀秋
慶長五年 備前

天正十九年 小早川隆景
慶長五年 栗田甲斐守長政

五年 曾守者 仲津守
九郎 及 辰留 曾守者 藤原 曾守者 藤原

（龍造寺）
（龍造寺）
（龍造寺）
（龍造寺）
（龍造寺）

Large empty grid on the right page.

筑後

久留米

柳川

建武中、筑後守賴尚守護正平初、菊池武光征
西將軍官ヲ高良山美キ、阿蘇惟澄ヲ國王大尊氏
又高橋光種ヲ按察使、高橋光種ヲ按察使、今川相傳ヲ九州ヲ定ム、山崎、草野、黒木、三池
黒木、高橋、按察、四年田浦地三池諸族、割據、永祿七年
大友左門有義、鎮全園ヲ併有、天正十九年、豊臣氏、築
竹野、柳原三郡ヲ小早川隆景ニ賜、立花宗茂ヲ柳川
三毛利、赤包、久留米ニ築、赤包、門ヲ、曾守者、分、寸、又、提、運
（龍造寺）
（龍造寺）
（龍造寺）
（龍造寺）
（龍造寺）

天正十九年 高良山麟圭領

龍造寺上流の家晴

Grid on the left page with some text and a stamp.

大同元年... 吉川元春... 子廣家出雲... 月小早川... 田中吉政... 元和中... 無嗣絶

天文中 御井郡司 年花 柳川

天正 高良山附屬

天正 同十五年 吉川元春 小早川藤部秀包 立花左兵衛統虎

慶長元年 田中筑後守吉政 田中吉政領

元和六年 有馬蕃頭豐氏 立花飛騨守宗茂

豐氏... 六月五日... 二十一日... 柳川城... 居北官家... 萬石

豊前 元和六年... 天授... 弘治... 天正... 慶長... 元和... 豊前... 中津

小倉

中津

天正十二年 高橋三河守繼種 大友義統領

天正十二年 高橋三河守繼種

大友義統領

中津

嘉吉三年丹尾加賀守長政

永祿三年高橋三河守

冷泉土郎高祐

天正十五年毛利壹岐守吉成

慶長五年細川越中守忠興

寬永九年小笠原信濃守長次

元祿十年小笠原信濃守長圓

黑田官兵衛孝高

細川越中守忠興

小笠原信濃守長次

小笠原信濃守長圓

京都府城守上毛下

津島城下毛郡中

津島城下毛郡中

津島城下毛郡中

元祿十年

中津
黒田 孝高
天正 日 甲斐守長政
慶長 五 筑前
小倉
細川 忠興
日 越中守忠利
寛永 九 肥後
中津
小笠原 長次
日 信濃守長勝
天正 三 日 修理大夫長胤
元祿 十 年 西流
長圓 四方石為名跡
賜
小笠原 長圓
日 信濃守長胤
長興 一 万石 長興 一 移

貞享三年

貞享三年

貞享三年

Large empty grid on the left page, likely a ledger or record book.

義統因除二日 日義統因除二日
大野五入大外三内 内於五万四千石 (官許)

又鑑元文統化
祀在寺氏先秋
任三推成日厚城

豊後

鎌倉時大友元正守備子孫傳承
二至其子孫二龍二龍六國
往携義又天正十四年志津人未侵
城陷り出奔十五豊後日討平
又統又全同討

府内

岡

臼杵

日出

杵築

大友元正時
鎮守子孫傳承
府内二層十九代修理
夫義鑑其子孫傳承
鎮守其子孫傳承
肥後六國時
四年島津義久攻陷
天正十五年豊後臣
義統又豊後一
封又 (官許提督)

大友元正時
鎮守子孫傳承
府内二層十九代修理
夫義鑑其子孫傳承
鎮守其子孫傳承
肥後六國時
四年島津義久攻陷
天正十五年豊後臣
義統又豊後一
封又 (官許提督)

大友元正時
鎮守子孫傳承
府内二層十九代修理
夫義鑑其子孫傳承
鎮守其子孫傳承
肥後六國時
四年島津義久攻陷
天正十五年豊後臣
義統又豊後一
封又 (官許提督)

大友元正時
鎮守子孫傳承
府内二層十九代修理
夫義鑑其子孫傳承
鎮守其子孫傳承
肥後六國時
四年島津義久攻陷
天正十五年豊後臣
義統又豊後一
封又 (官許提督)

大友元正時
鎮守子孫傳承
府内二層十九代修理
夫義鑑其子孫傳承
鎮守其子孫傳承
肥後六國時
四年島津義久攻陷
天正十五年豊後臣
義統又豊後一
封又 (官許提督)

大友元正時
鎮守子孫傳承
府内二層十九代修理
夫義鑑其子孫傳承
鎮守其子孫傳承
肥後六國時
四年島津義久攻陷
天正十五年豊後臣
義統又豊後一
封又 (官許提督)

大友元正時
鎮守子孫傳承
府内二層十九代修理
夫義鑑其子孫傳承
鎮守其子孫傳承
肥後六國時
四年島津義久攻陷
天正十五年豊後臣
義統又豊後一
封又 (官許提督)

大友元正時
鎮守子孫傳承
府内二層十九代修理
夫義鑑其子孫傳承
鎮守其子孫傳承
肥後六國時
四年島津義久攻陷
天正十五年豊後臣
義統又豊後一
封又 (官許提督)

大友元正時
鎮守子孫傳承
府内二層十九代修理
夫義鑑其子孫傳承
鎮守其子孫傳承
肥後六國時
四年島津義久攻陷
天正十五年豊後臣
義統又豊後一
封又 (官許提督)

大友元正時
鎮守子孫傳承
府内二層十九代修理
夫義鑑其子孫傳承
鎮守其子孫傳承
肥後六國時
四年島津義久攻陷
天正十五年豊後臣
義統又豊後一
封又 (官許提督)

月日義統因除二日
石廣長三手月日義統因除二日

大友元正時
鎮守子孫傳承
府内二層十九代修理
夫義鑑其子孫傳承
鎮守其子孫傳承
肥後六國時
四年島津義久攻陷
天正十五年豊後臣
義統又豊後一
封又 (官許提督)

竹中重信
利永正重義
利永正重義
利永正重義

白杵
竹田
府内
杵築

天正十年

文祿十年

同四年

慶長七年

同六年

寛永九年

大友重隆
大友重頼
大友重頼

高津重久

福原重勝

早川重長

竹中重信

木下重俊

細川忠興

小笠原重隆

同十年
正保二年
萬治元年

根野織部重明

松平左近將監昭

榊原正英親

唐澤
水野忠任
日左近將監
和泉守忠光
日左近將監忠光
文化十四 瀧松八

肥後

延久二年藤原則隆菊池郡賜上菊池三居リ因テ氏トス
 乙限府城三居唐世勤王誓成願心重シ天理神皇太后文氏武ヲ殺シテ其地ヲ菊池氏トシ
 阿蘇大守日阿蘇郡ヲ領ス菊池氏之衰ルニ自テ天正
 吉 中全同歸降及併セ

熊本 冠隈本

延久二年藤原則隆菊池郡賜上菊池三居リ因テ氏トス
 十二世肥後守武重守護十一限府城三居天文ノ末菊池
 氏亡ト阿蘇大守司自立天正十五年豊臣氏伍ニ成改ヲ
 守護トシ隈本トス

人吉

建久九年相良三郎長頼
 求麻郡人吉庄ヲ領ス以後子
 孫ニ傳フ (官攝 三十一代長五)

宇土

永承三年阿蘇日高
 公榮延久二年其高太
 天將監則隆文明中名
 和摩臣大尉武頭五代
 村左多術村頭為傳フ
 (同古里)

天正十二年

城十郎太郎

天正十二年
 可ヲ賜分改改ヲカセ

加藤 清正
肥後守忠廣
寛永九年 没

熊本

菊池肥後守

城七郎水部
天正五十四年

天正十五年 佐藤貞成政

同十七年 加藤主計頭清正
或于五年 二十六万

慶長五年 加藤主計頭

同六年

寛永九年 細川越中守忠利

辛酉方 志小倉
細川領
長岡佐渡
三所及倉屋、直入、海部三所、内

宇土

宇土修理亮頭孝

六月 命為重正
五百町守備、備置、備置、備置

小西撰津守行長

加藤領 今補

細川領 今補

求麻人吉

建久九年
相水三郎長頼
以来

相良左衛門佐長每
三万二千石 海摺

死前慶長 二月
寺次進守廣高

同十五年

正保三年

寛文四年

同十一年

三万 六二
光尚分知
細川宮松行孝

幕府領

四万

薩摩

鹿兒島

又治三年島津忠久守備ナリ日向大隅ヲ兼又子孫相襲ク十代忠昌時家政衰(国)勢退感三ノ十代貴久ニ至テ大ニ田業ヲ修メ家母ヲ誣殺ス其子久天正中日向ヲ併セ肥後ニリ此州既後及七代大友氏ヲ逐テ豊後ヲ併ス

島津豊後守忠久文治三年八月日向薩摩三平出水郡山門院大守死城ヲ襲メ其子久天正其後歴代數達大隅守久天正鹿兒島郡上山城ヲ築キ後鹿兒島ト改ム

鹿兒島

天正四年 島津重豪討鹿兒島

天正中 島津 義久

天正五年 島津重豪 鹿兒島

文祿四年六月二十九日大島米印
鹿兒島三萬三千八百八十九石餘 大瀨園十七萬五千五百石餘 日向國內諸縣郡
十二萬八百八十石餘 日向島三萬七千七百三十三石餘 日向全段 鹿兒島上二萬名 日向
六千二百名 日向島治郡九萬三千石 日向島治郡又添平五十九萬九千五百石 日向
日向島治郡 日向島治郡 日向島治郡 日向島治郡 日向島治郡 日向島治郡 日向島治郡 日向島治郡

慶長七年 島津重豪 鹿兒島

鹿兒島三萬三千八百八十九石餘 日向島三萬七千七百三十三石餘 日向全段 鹿兒島上二萬名 日向
日向島治郡 日向島治郡 日向島治郡 日向島治郡 日向島治郡 日向島治郡 日向島治郡 日向島治郡

對馬

寬元四年 宗重 島津重豪 阿比留國信 日向島治郡 日向島治郡 日向島治郡 日向島治郡 日向島治郡 日向島治郡 日向島治郡 日向島治郡
平中 島津重豪 經成 守護 上九十四代 又智 世 朝鮮 通信 事 元冠 為三死云

寛元四年

府中

今最原

宗尚院元四年父
知宗三郎子討馬
知宗三郎子討馬
知宗三郎子討馬
知宗三郎子討馬

宗尚院元四年父
知宗三郎子討馬
知宗三郎子討馬
知宗三郎子討馬
知宗三郎子討馬

天正五年
慶長五年
宗尚院元四年父
知宗三郎子討馬
知宗三郎子討馬
知宗三郎子討馬
知宗三郎子討馬

117
1176
2
未



